

ヤコブ書 1章 2節～12節

欲求からの自由、神様の備えによって生きる自由

皆さん今日は。神様の御言葉を受け取るため、この場所に参加され、またオンラインで繋がっている方々と共にいることを嬉しく思います。

先月、新約聖書のヤコブ書からの学びをスタートさせました。それは、神様が私達の人生に働かれる時、神様は私達を特定の物事から自由にし、そして同時に特定の物事のために自由にされるという事です。

これは神様が人々と関係を持つ法則であり歴史を通して聖書の中で見られ、また私達の人生に於いても見られることです。

科学者は、物事が働く法則（パターン）を発見しようとして自然界を見ています。例えば、ある種の化学物質が私達の身体に作用する仕方について、それを見て、知り、確認し、これらを繰り返して確信を得るのです。それはちょうど薬をつくるのと同じです。信仰という精神世界においても、同じようなことがあります。

私達が神様の御手に人生を置く選択をし、導きを求めて神様に信頼し委ねる時に、私達は特別な発見をするのです。

前回、私達は、神様が私達を自己中心から解放して下さい、神様と他者のために生きることができるよう私達を自由にして下さると学びました。

ヤコブ書を続けて学ぶことで、私達が神様にある平安の内に生きるため、神様の元で欠けたことのない状態で生きるため、神様がいかにして他者との争いから、また不健康から私達を自由にして下さるかを知ることができます。

今日は、まず、神様がどのようにして、信じ従う者の必要を満たして下さいに焦点を当てて見たいと思います。

神様は、私達を欲求から、そして神様の備えによって生きることができるよう私達を自由にされます。クリスチャンになるということは、コリント人への第2の手紙9章8節の教えにだけ従って生きるということです。

“神は、あなた方を、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆるめぐみをあふれるばかり与えることができます。”

このメッセージへの私の祈りは、私達の必要を神様が与えて下さるよう神様にお任せする、そのことを神様が私達に教えて下さるようということです。

私達自身、神様がどのようにして、これをして下さるか自らの経験上で学んでいるように、私達はより完全に深く内面から平安になるように形作られます。私達は私達が持っているもので足

り、満足するように学び、神様が私達全ての本当の必要に十分に答えて下さると気がつくのです。

このことで、私達は、神様と他者の為に生きることができるよう私達の目を向けることができるようになります。

私達が多く経験する二つのタイプの必要に焦点を当てていきましょう。そのほかにもあるのですが、これらは私達の多くが度々感じているものと言ってもいいでしょう。

その一つは時間に対する必要と、もう一つは物質的なものへの必要です。お気づきのように、これらは「時は金なり」と言うように違いが関係し合っているものです。

私達がこのように、物が十分ないと感じる時、平安を得ることは難しいことですね。ヤコブはこのような状況にいることを、私達の信仰に試練を与える“困難”な時と呼びました。(2・3節)

2

私達は試練については外部からの困難と考え、誘惑については内面からの困難と捉えます。どちらか一方というわけではなく、私達は両方を経験するのです。ですが、今は、必要が満たされないと私達が思う時に私達が直面する、外部からのストレスについて見て行きましょう。

1980年代の終盤に私が北海道に移り住んだ直後、ある日本人の友人が私に語ったことを覚えています。その頃、経済は好景気で沢山のお金が生み出されていました。その結果、多くの人が長時間労働を余儀なくされ(多くの場合に上司の指導に従い)、過労死と言う言葉がよく知られるようになりました。その友人は私に、“自分の給料を三分の一に減らしてもいいから、働く時間を三分の一にできたら良いのに。でもそんなことは選びようがないんだ。”と語っていました。

今現在も私達の誰かは、

a 働きすぎ、いつも急かされ、ストレスが多くて疲れてしまう

b そんなに働かないけど、でも十分でないこと(持っていないこと)をいつも恐れている
このように思っているかもしれません。

また他の人は、仕事の量がどのようなものであったとしても、喜んで働きたい、でもその機会がない、と思っているかもしれません。

神様が私達を置いている、私達が生きて働くこの社会では、これらは単なる議論のための考えではなく、現実社会の真剣な問題です。

しかし聖書の神様は大胆な主張をされます。それは神様が私達の人生がもたらす試練を受け取って、神様の良い目的のため用いられるというものです。

神様の教えでは、試練はお金では買えない宝物“継続する力”、困難な時に消え失せることのない、キリストに似た者となるように成熟をもたらす現実に即した希望を私達は得るチャンスなのです。(3節)

ですから神様は、私達が試練は必要なもので私達を助けると理解し、試練を受けることを学ぶことができるよう助けたいと思っておられます。

“継続するための力を完全になるために働かせなければなりません。”(4節)と神様は言っています。

ですから、困難を避けたいという私達の懸命な試みは、そのことを通して達成される大きな価値を持つ神様の働きの妨げになり得るのです。前にお話ししたことですが、私達が、必要が十分に満たされていないと思う時、多分私達は、神様は私達を好きではない、あるいは神様が罰を与えているなどと早急に思ってしまいがちです。しかし、それは、私達の困難は、神様が意図したものの一部で、かつご計画であり、私達がそれを神様の御手に委ねる時に、神様はそれを祝福に変えて下さる、そう言った機会であるかもしれないのです。

神様は、私達がそれが必要であると思われる時、従う者を困難な冒険へと送ることを厭わないお方です。実際に、神様が私達の信仰を発展させる時の方法は、しばしば、神様に信頼することなしに上手く対処できない状況に私達を置くことなのです。

C・Sルイスの「ナルニア国物語」に登場する“アスラン”について、他の登場人物は、“知っての通り彼は野生的で飼いならされたライオンではない。”と述べています。

しかし、私達が人生の困難と対面するよう呼び出される時、私達は置き去りにされるのとは全く違うのです。神様が私達に、このようにしなさいと呼びかけておられるのは、神様がいつも私達が行動するために備え、力を与えて下さると私達が知ることなのです。これは神様の約束です。

では何故、神様はこのようなことをされるのでしょうか。4節で続いて、“成長した完全な者になる。”とあります。このキーワードは「〜になる」(「be」)ということです。(「持つ、」も「する」も「知る」も書いてありません。)

これは、仕事のための約束でも、収入の額面のことでありません。

ここで神様が焦点を当てているのは、あなたのような方、そして、人生の困難が自分を変え「〜になる」と考えている方です。それは性格の変化によるものです。

3

あなたの人格が引き続き発達していくことは、神様にとって大変重要なことだと聖書は明らかにしています。このように言う時だけ、4節では続いて“あなたの必要とするもの全てを、あなたは得ることができる。”というのです。

神様は神様を信じ従う者の必要を、それを神様の御手に委ねることを学ぶ時に、備えて下さいます。

私達は、この約束によって安らぎを得ることができます。しかし、これは怠惰を呼びかけるものではありません。

私達は、心を強く持つように教えられています。ヤコブ書5章7〜8節前段では、

“兄弟姉妹達、主が来られるまで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待っています。あなた方も耐え忍びなさい。心を強くしなさい。”

心を強く持つ。どのようにしたらできるのでしょうか。時間のことについてまず考えて見ましょう。その最初のステップは、どうして私には本当にほとんど時間がないのだろうか？という難しい疑問を持つことからだと思います。

もし私が、自分ではしたいけれど神様がそうしなさいと呼びかけていない事のために、スケジュールを埋め尽くしているとしたら、私は自分自身で自分を忙しすぎる状態にしていることとなります。私は、神様や現代社会、またその他のものを責めることができません。

もし私が、「ごめんなさい。今はそれをする十分な時間がありません。」と相手に伝える内面の自由がないという理由で忙しいのなら、特別な時間を作ったとしても私にとっては助けにはなりません。もし本当の理由が自分のスケジュールではなくて自分自身にあるなら、私は、直ぐに他の事でスケジュールを埋めてしまうでしょう。

もし本当の理由が不安にあるのなら、時間管理の技術では十分な解決にはなりません。

もし、私が本当に多くの事を上手に行うことで人に良い印象を与えたいという思いに駆られているとしたら、私はスローダウンすることができないと思います。クリスチャンとして私の神様との約束は、毎日を神様のペースで行動することです。これが、もしもキリストがジム・アリソンであったならキリストが生きるであろう、そのやり方で生きる私の人生です。これがイエス様に従う者となるという意味です。信仰によって生きるとは自分のスケジュールを、自分が神様からどのように呼びかけられているかに基づいて調整するという事で、恐れ、疑い、プライド、貪欲、その他私を過密スケジュールやオーバーワークにするいかなるものによってではないのです。

次に、お金のことを考えて行きましょう。もし私が必要のないものにお金を使い、私や私の家族、教会の財政に問題を起こすのであれば、よりシンプルに生活しようと思うことは、心を強く持つということが意味することの一部になります。(5章8節前段)

もし、私の必要を満たす仕事があるとして、やりたくない仕事だからという理由で拒否するとしたら、神様が介入され、私の収入レベルを奇跡的に上げて下さると期待することはできません。このような場合、実際に心を強く持ち、我慢強く待つということは、例えば仕事の申請書を書いて人とコンタクトしながらいっぱい祈るといった“能動的な待ち”をすることです。

もし私が自分の必要を満たし、またそれ以上の十分なお金を持ち、そしてそのお金をただ自分のためだけに持っているのではなく、他の人が働く機会のために捧げるとしたら、これこそが心を強く持つことです。このようなことが多分“豊作を生み出す土地になるよう待つ”ということだと思います。(8節後段)

また私にとって、神様の備えというのは私や私の家族、または私達だけのためではなく、私達全体の社会、そして全ての神様の世界のためであることを学ぶ機会になるのです。

私達に与えられた神様の言葉を聞く時間の終わりに、祈りをもって神様に元へ行きましょう

4

愛する神様、あなたはヤコブ書1章7節において、全ての良い完全な贈り物はあなたからのものだと教えて下さいました。私達は祈りをもって、時間、お金、健康、機会、その他私達が必要とする全て、これらを含めて全てを持っておられる神様の御元へ行きます。

主よ、私達の文化は、忙しいことやお金を多く持つことが私達にとって重要だとするものです。しかし、あなたは今日、私達に全く違うこと、9節で言っている“貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇りなさい”と教えて下さいました。あなたが私達を見るように、私達も私達自身を見ることができるよう助けてください。私達の価値は私達の仕事やお金がもたらすものから来るのではなく、あなたが私達一人ひとりを、私達が持っているものが多くても、少なくても、深く気遣っていて下さると私達が心から深く知ることができるよう助けて下さい。

経済的な困難にある私達一人ひとりが12節にある“困難な時にも進み続ける”ことができる者になれるようにして下さい。あなたはそのような人を祝福されると仰っています。

神様、もし私達が経済的に恵まれている状況にあるとしても、同じように、あなたが私達を見るように、私達も私達自身を見ることができるよう助けて下さい。そのことが私達の霊的な生活のいて特別な危険や脅威があることも理解出来るように助けて下さい。

私達が持っているもの、また私達自身でさえ、10章にあるように“野の花のように消え去る”ことを思い出させて下さい。そのような観点から、私達の真の価値は私達が持っているものにあるのではなく、あなたの子供として存在する私達自身にあることを深く理解できるようにして下さい。私達が富んでいても貧しくても、忙しくても、もっとすることがあれば良いと思っても、私達がどんな人生の状況にいるとしても、神様、あなたの備えの中で生きていくことができるように助けて下さい。十分に持っていないという恐れから私達を自由にして下さい。あなたが十分に持っておられる神様であると私達が知ることができるよう助けて下さい。あなたは何時も私達の必要に合わせる方法によって信じる者に備えて下さっており、私達を貪欲から自由に、十分であると満足できるよう助けて下さっています。

あなたが私達の本当の必要全てのために備えて下さると約束していることを知って、私達が毎日を過ごすことができるように助けて下さい。

私達の必要をお互いに備えることができるように私達を支えて助けて下さい。あなたが私達の中で働いておられることを理解し、あなたのうちで休み、心を強く持つことができるよう助けて下さい。辛い困難な時に、このような時を通った後で、私達が冠を受け取ると言われたあなたの約束を、覚えることができるよう助けて下さい。12節にあるように、この冠は命そのもので、あなたを愛する者に約束されたものです。あなたの御名がほめ讃えられますように。私達ももっと、あなたの素晴らしいご計画でなれるはずの者になれますように祈ります。

キリストの御名によってアーメン

参考、引き用

Lewis, C. S. (2000). *The Lion, the Witch, and the Wardrobe*. New York: HarperCollins.

Warren, R. (April 15, 2018). "Making Space to Slow the Pace of Your Life." Saddleback Church. Retrieved May 13, 2018 from <https://saddleback.com/watch/living-with-margin/making-space-to-slow-the-pace-of-your-life>

Warren, R. (April 22, 2018). "Learning How to Slow Down." Saddleback Church. Retrieved May 13, 2018 from <https://saddleback.com/watch/living-with-margin/learning-to-slow-down>